



## CLUB WEEKLY No.2802

国際ロータリー会長  
ゴードン R. マッキナリー

会長 城戸 総一郎

私たちの行動から希望が生まれる  
活力あふれる楽しいクラブを築こう！

## 環境月間

例会日：2024年4月18日  
(令和6年4月18日)

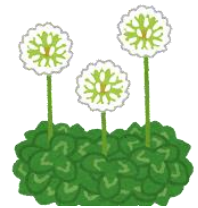
## 今日の例会

2024年4月18日

- 本日の卓話「血液事業の現状について」  
大阪府赤十字血液センター事業推進一部  
事業推進一副部長 植田 宏和 様
- 今日の歌「日も風も星も」  
ピアノ 岩島 佳子 先生
- 例会前 地区研修・協議会最終調整
- 例会後 新旧合同クラブ協議会

## 来週の例会

- 4月25日(木)  
卓話 未定



## 会長の時間

城戸会長

先週は、暖かいというよりも日中は初夏を思わせるような暑い日が続きました。そんな中、ゴルフファンには待ち遠しかったメジャー第一戦、ゴルフの祭典、「マスターズ」が開催されました。予選ラウンドは各選手が強風に苦戦を強いられる中、世界ランキングNO.1のS・シェフラー選手が上位で通過し、決勝ラウンドではただ一人2桁のアンダーパーで回り、2度目の制覇を成し遂げ栄冠と2着目のグリーンジャケットを手に入れました。一方、期待の松山選手は予選ラウンドでパットの調子が上がらず、辛うじて本線に残ったものの健闘空しく、残念ながら38位に終わりました。今大会特筆すべきはタイガーウッズ選手が見事に予選を通過し、結果下位に甘んじましたが、最終ファンを沸かせるプレーを見せてくれたことです。メジャー(特にマスターズ)にかける思いは並々ならぬものですね。私事ですが、夢が叶うなら一度はマスターズの現地観戦、次いで「オーガスタ」にてプレーをしてみたいものです。どうかかネクションが有れば教えて下さい。足腰が丈夫なうちに是非叶えたいものです。さて、今週は「ロータリーの友」4月号から引用させていただきます。「卓話の泉」に「心理的安全性の保ち方」とありました。(以下抜粋)

グーグル社の調査チームが成功する会社、いいチームを作る五つの鍵を示しています。筆頭が「心理的安全性」これは何を言っても馬鹿にされない、挑戦や行動が出来る心理、自由にアイデアを出したり発言したり出来、失敗から学ぶ環境があること。これが整わなければチームはうまく機能しません。「心理的安全性」を如何につくるかが大切です。

二つ目の「相互信頼」は信頼して仕事を任せ合える関係性がある事。三つ目の「構造と明確さ」はチームの目標や役割分担に実行計画が明確にある事。四つ目の「仕事の意味」は一人一人が自分の与えられた役割に意味や価値をきちんと見だせていること。五つ目の「仕事のインパクト」は、自分の仕事が組織内や社会にいい影響を与えられているという意識がある事。とあり、「心理的安全性」を如何に保つかはカウンセリングのように信頼関係を意識し承認・共感といった肯定的な関心をもってコミュニケーションを図ること、そして「なぜできないのか」「なぜ続かない」などのダメ出しではなく、「何が出来ますか」「何から始められますか」といった肯定質問が大切と締めています。

会社やRCでもこのことは重要で、単なる会員増強で終わることなく、新入社員(転職者含む)や新入会員を前述の手法を用いて有力な戦力として育てることが特に大切なことと教えていただきました。「柔軟な発想や行動」は時代の変化や世の中の流れを的確に読み取り、本質を見極めなければ生まれてきません。「私たちの行動から希望が生まれ活力ある楽しいクラブを築こう」のスローガンを基に私たちのクラブは年齢の枠を超えて「ワンチーム」として様々な事業に取り組んでいます。今週末の「地区研修協議会」も持ち前の「チームワーク」を以って成功に導きたいものです。皆さんご協力の程宜しくお願いします。

《これからの予定》

- 【1】 本日例会前、地区研修・協議会最終打ち合わせ、例会後、新旧合同クラブ協議会
- 【2】 4/20(土)2024-25年度のための地区研修・協議会
- 【3】 4/20(土)次年度理事・役員懇談会18:30~
- 【4】 4/23(火)衛星クラブ例会 19:00~

《連絡事項》

- 【1】 本日例会後、瑞穂の間Bにて新旧合同クラブ協議会を開催いたします。多数のご出席をよろしくお願いいたします。今期の委員長様には各委員会の活動(事業)の報告及び反省点、又、次年度への引継ぎ等のご発表を、次年度委員長様には今期の委員長様に対する質問等をお願いいたします。
- 【2】 4/20(土)は地区研修・協議会です。大阪国際会議場10F1001-1003号室前に午前8時30分にご集合下さい。当日の服装は、紺又は黒のスーツ、次年度テーマネクタイならびにスカーフ、次年度テーマバッジをご着用下さい。

心に残るロータリアンの言葉

「まことの幸福は人助けから」

先ず最初に、あなたをロータリーに引き付けたものは何ですか？単に親睦を楽しむことでしたか？それともあなたが地域社会で何か意義ある仕事に参加することでしたか？あなたのロータリークラブの会員で、誇りをもって交際出来る人々について一寸考えてみましょう。

ロータリアンを一味違った男や女に仕立てて行くのは何でしょうか？ロータリアンは自分の人生にある種の幸福感と深い満足感を見出しているようにみえますが、それはなぜでしょうか？

個人的な喜びや、満足感と尽きせぬ果報を発見した男達女達です。ロータリーの理想の真髄は、何ら個人的見返りを求めることなく、進んで他人に援助の手を差し伸べることです。驚くべきことですが、我々にとって最高の幸福感は、他人のために役立つように、また自分がこの世の務めを終った後まで長続きするような目的のために惜しみなく自分の時間と労力と財力を捧げる時に得られます。「まことの幸福は人助けから」ということを、ロータリアンは発見します。助を求める真剣な声に応じてあげれば、何ともしようのない心の充実感に目の覚める思いがするではありませんか。幸福—それは恐らく人間すべての真底からの熱望—それが他人を助ける、という行為によっていともたやすく手に入る、という途方もない秘訣と普遍的真理をロータリアンは分かち合うのです。

クリフォード・ダクターマン(1992-93年度RI会長)

出席報告

4月11日

(4/11)の出席者数:26名(0)

ビジター2名:東大阪東フューチャーロータリー衛星クラブ

議長 佐藤 俊一 会員  
議長エレクト 須崎 洋一 会員

4/11 出席率:60.47%

※( )内数字は出席免除会員の出席者数  
会員:53名(免除10名)

	3/21	3/28	4/4
HC出席	22(0)名	25(1)名	27(0)名
MU出席	7(0)名	2(0)名	1(0)名
修正出席率	67.44%	61.36%	65.12%